

つなぐ



＜設立状況(R6.6.1) 全41地区中＞
 まちづくり協議会 31(33 地区)
 まちづくり協議会準備会 0(0 地区)

Vol. 56

発行：松山市役所 まちづくり推進課 TEL: (089) 948-6963 FAX: (089) 934-1821

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicommunity/tikudayori.html>

Facebook : <https://www.facebook.com/machijoho>

Facebook まちづくり協議会情報局



浮穴地区まちづくり協議会

が設立されました！

4月19日、浮穴公民館で、浮穴地区まちづくり協議会の設立総会が開催されました。浮穴地区では令和3年から協議会設立に向けて話し合いを進め、令和5年7月の準備会設立を経て、市内33地区目、31団体目のまちづくり協議会として設立に至りました。

会長は森田光一氏が選出され、森田会長は「旧浮穴村が松山市と合併し65年の記念すべき年に協議会が設立されてうれしい」などと挨拶。事業計画では、地区内の関係団体が集まり、課題や将来像を話し合い、未来へ広がる地区を目指す方針が示されました。

浮穴地区

松山市南部に位置し、南高井町、森松町、井門町の3町からなる農業地、商業地、住宅地が重信川に沿って東西に広がる。全国名水百選に選ばれた杖ノ淵や松原泉など、伏流水と呼ばれる地下水に恵まれた自然豊かな地域。



松原泉 (平成18年8月に再生整備されました)

卒業式 3月22日(金) 八坂地区



八坂小学校130周年を記念して、卒業証書幕を八坂地区まちづくり協議会の鶴高直明会長から八坂小学校田中美紀校長にお贈りしました。今年の卒業式にさっそく撮影会を！



久谷地区 4月7日(日) 春のフェスタ



国指定重要文化財「渡部家住宅」でのステージ発表や、桜を見ながらトックトックでの久谷地区巡り！五明まち協のキッチンカーも出店していて、大盛況でした。



堀江地区

まつやま・ほりえ海の駅「うみてらす」で内宮中学校のボランティア部と堀江小学校のほりえゆめくらぶによるポップコーンやわたがしの販売！

多くのキッチンカーが出店しており、沢山のお客さんで賑わっていました。



5月18日(土) 青空市



新年度スタート！

各地区で行われたイベントを紹介します

素鷺地区 5月3日(金・祝) みかん一座と コラボミュージカル



地区住民からは5名が出演され、多くの観客が集まりました。劇中には素鷺ゆかりの「日の出饅頭」が出てきたり、音楽に合わせて手拍子をしたり観客は大いに盛り上がりしました。

アラスカでも公演し好評のみかん一座のミュージカルを近くで見ることができ、熱気と迫力を感じました。



浅海地区 5月12日(日) あさなみマルシェ

季節の野菜や惣菜、ハンドメイド雑貨、輪投げ、カーネーションのプレゼントなど楽しさあふれる「あさなみマルシェ」。当日はあいにくの雨でしたが、朝から多くのお客さんで賑わっていました。



中島地区 みかんの花かおる音楽祭

5月18日(土)



姫ヶ浜ビーチ前で総勢25組、80名の方が出演！！

中島唯一のパン屋さん「tetote」や「アロマオイル&サウナ“島とみかん”」など、五感で島を感じられるお店がたくさん出店されました。会場が一体となって盛り上がる音楽祭となりました。



地域力パワーアップ大会

①まずは自分の備をしなう

・大切な人を守るにも、自分の命が無ければ救えません

・食事は非難でも

→トイレットペーパー

・非常持ち出し袋

・食品のローリングストック（好きな食べ物も）

・家具固定

・最寄りの避難所の確認

・バッテリー

・情報収集手段（自治体LINE登録など）

・防災の知識

など

～災害時に地域コミュニティが果たす役割～

5月25日（土）地域力パワーアップ大会を開催しました。市長からのあいさつの後、2つのまち協から取組事例や研究講座の発表が行われました。



堀江地区まちづくりコミュニティ会議からは、「ふるさとづくりは織物を編むが如し」の理念の基、15部の活動の様子を伝えてくれました。また、課題とその解決案、将来に向けての展望が発表されました。



潮見地区まちづくり協議会からは、地域の人と「いっしょにやろや」で続けて来た活動を振り返りました。新まちづくり計画の策定までの流れと、計画の内容についても説明いただきました。

能登半島地震被災地で避難所運営を支援した松山市危機管理課職員から、被災地や避難所の様子を発表しました。ご近所の人との挨拶で繋がりができ、地域の活動に参加して人との繋がりが深まり、地域コミュニティが生まれ、「災害に強いまち」になっていくことを実感したそうです。

松山市コミュニティ・アドバイザーから

地方都市は人口減少が進んでいるが、人数ではなく、地域や住民の質を高めることが重要だと思っています。100人の動かない人がいるより、10人の動ける人がいることの方が大切です。

まち協の活動は、住民同士が連携イベントを開催したり、教育に関わったり、世代を超えた住民のネットワークができていて、住民の質を上げることになっています。自信を持って活動をしていただきたいと思います!!



愛媛大学 社会共創学部
准教授 笠松 浩樹 氏



H P : <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/machidukuri.html>

H P 地域におけるまちづくり